

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年12月28日
【四半期会計期間】	第43期第3四半期（自平成23年8月21日至平成23年11月20日）
【会社名】	アーランドサカモト株式会社
【英訳名】	ARCLAND SAKAMOTO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 坂本 勝司
【本店の所在の場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 堀川 優人
【最寄りの連絡場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 堀川 優人
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第3四半期 連結累計期間	第43期 第3四半期 連結累計期間	第42期 第3四半期 連結会計期間	第43期 第3四半期 連結会計期間	第42期
会計期間	自平成22年 2月21日 至平成22年 11月20日	自平成23年 2月21日 至平成23年 11月20日	自平成22年 8月21日 至平成22年 11月20日	自平成23年 8月21日 至平成23年 11月20日	自平成22年 2月21日 至平成23年 2月20日
売上高(百万円)	67,248	72,556	21,916	23,399	88,818
経常利益(百万円)	5,137	7,286	1,440	2,005	6,540
四半期(当期)純利益(百万円)	2,712	3,639	755	1,067	3,276
純資産額(百万円)	-	-	36,118	39,907	36,743
総資産額(百万円)	-	-	64,083	65,355	61,602
1株当たり純資産額(円)	-	-	1,723.08	1,899.88	1,751.57
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	133.74	179.46	37.26	52.65	161.55
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	54.5	59.0	57.7
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	7,260	3,089	-	-	8,943
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,824	1,563	-	-	2,985
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,888	1,102	-	-	5,284
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	2,547	3,097	2,673
従業員数(人)	-	-	1,248	1,316	1,233

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第42期第3四半期連結累計期間及び第42期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

4. 第42期第3四半期連結会計期間、第43期第3四半期連結累計期間及び第43期第3四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成23年11月20日現在

従業員数（人）	1,316 (2,430)
---------	---------------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数（パート社員、アルバイト等）は、当第3四半期連結会計期間の平均人員（1日8時間換算）を（ ）外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成23年11月20日現在

従業員数（人）	1,171 (1,610)
---------	---------------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数（パート社員、アルバイト等）は、当第3四半期会計期間の平均人員（1日8時間換算）を（ ）外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【仕入及び販売の状況】

#### (1) 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年8月21日 至平成23年11月20日)	構成比(%)	前年同四半期比(%)
小売事業(百万円)	13,922	85.8	108.4
卸売事業(百万円)	4,434	27.3	112.6
外食事業(百万円)	1,125	6.9	116.7
不動産事業(百万円)	-	-	-
消去(百万円)	3,247	20.0	-
合計(百万円)	16,234	100.0	109.0

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年8月21日 至平成23年11月20日)	構成比(%)	前年同四半期比(%)
小売事業(百万円)	17,976	76.8	105.3
卸売事業(百万円)	5,412	23.1	112.3
外食事業(百万円)	2,747	11.7	115.0
不動産事業(百万円)	870	3.7	105.7
消去(百万円)	3,607	15.3	-
合計(百万円)	23,399	100.0	106.8

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 事業の状況

当第3四半期連結会計期間（平成23年8月21日から平成23年11月20日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により制約を受けたサプライチェーンの復旧などにより持ち直しの動きが見られたものの、米国経済の回復鈍化や欧州の財政不安による円高の進行などにより、雇用・所得環境が改善しないまま、個人消費が伸び悩む厳しい状況が続くこととなりました。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結会計期間の売上高は233億99百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は18億65百万円（前年同期比39.0%増）、経常利益は20億5百万円（前年同期比39.2%増）、四半期純利益は10億67百万円（前年同期比41.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### < 小売事業 >

巨大店舗がリードするホームセンター部門の売上高は、163億50百万円（前年同期比6.2%増）となりました。東日本大震災の復旧需要等によりホームセンター既存店売上高が前年同期比4.3%増と好調に推移しました。加えて、昨年11月にオープンしたホームセンタームサシ高岡中曽根店及び10月にオープンしたホームセンタームサシ貝塚店が寄与したためであります。

その他小売部門の売上高は16億25百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

その結果、小売事業の売上高は179億76百万円（前年同期比5.3%増）となりました。営業利益については、増収効果に加え粗利益率の改善、販管費抑制もあって、9億76百万円（前年同期比49.3%増）と大幅増益となりました。

#### < 卸売事業 >

全国のホームセンター既存店売上高は堅調に推移しました。それにより、卸売事業の売上高は20億55百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は2億70百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

#### < 外食事業 >

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」の直営店が前年同期末比6店舗増加したことなどにより、売上高は27億47百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益は3億81百万円（前年同期比24.3%増）となりました。

#### < 不動産事業 >

不動産事業の売上高は6億20百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は2億29百万円（前年同期比41.3%増）となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比較して2億17百万円増加し、30億97百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、13億82百万円（前年同期は27億4百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益19億51百万円、仕入債務の減少額16億47百万円、たな卸資産の増加額11億87百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、9億60百万円（前年同期は9億82百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、25億60百万円（前年同期は14億27百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画しておりました重要な設備の新設、除却等について重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画しておりました重要な設備の新設について、完了したものは次のとおりであります。

アーランドサービス株式会社（連結子会社）において、「かつや」直営1店舗の新設工事を平成23年7月に完了し、同月に開店しております。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年11月20日)	提出日現在発行数(株) (平成23年12月28日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,690,843	20,690,843	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	20,690,843	20,690,843	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成23年8月21日～ 平成23年11月20日	-	20,690,843	-	6,462	-	6,601

#### (6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ  
 ぬ。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年8月20日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年8月20日現在

区 分	株式数(株)	議決権の数(個)	内 容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 410,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,269,900	202,699	-
単元未満株式	普通株式 10,543	-	-
発行済株式総数	20,690,843	-	-
総株主の議決権	-	202,699	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、600株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%)
アークランド サカモト(株)	新潟県三条市 上須頃445番地	410,400	-	410,400	1.98
計	-	410,400	-	410,400	1.98

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
最高(円)	1,110	1,185	1,160	1,280	1,475	1,444	1,559	1,597	1,451
最低(円)	792	964	1,043	1,074	1,250	1,217	1,184	1,382	1,250

(注) 1. 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。  
 2. 最高・最低株価は、各月の1日から末日の暦月の数値に基づいて記載しております。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成22年8月21日から平成22年11月20日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年2月21日から平成22年11月20日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成23年8月21日から平成23年11月20日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年2月21日から平成23年11月20日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成22年8月21日から平成22年11月20日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年2月21日から平成22年11月20日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成23年8月21日から平成23年11月20日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年2月21日から平成23年11月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,097	2,676
受取手形及び売掛金	2,990	2,421
商品及び製品	11,070	9,111
その他	1,658	1,395
貸倒引当金	4	3
流動資産合計	18,813	15,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2 26,772	2 27,199
土地	7,898	2 7,898
その他(純額)	2,030	1,349
有形固定資産合計	1 36,701	1 36,447
無形固定資産		
のれん	4	6
その他	1,970	2,020
無形固定資産合計	1,974	2,026
投資その他の資産		
投資有価証券	789	715
敷金及び保証金	5,538	5,330
その他	1,832	1,945
貸倒引当金	293	465
投資その他の資産合計	7,866	7,525
固定資産合計	46,542	45,999
資産合計	65,355	61,602
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,610	10,444
短期借入金	4,650	3,700
1年内返済予定の長期借入金	86	1,366
未払法人税等	1,986	1,789
賞与引当金	427	195
その他	2,551	2,162
流動負債合計	19,313	19,657
固定負債		
長期借入金	61	126
長期預り保証金	3,294	3,362
事業再構築引当金	5	11
退職給付引当金	1,020	930
役員退職慰労引当金	427	427
資産除去債務	1,023	-
その他	302	342
固定負債合計	6,134	5,200
負債合計	25,448	24,858

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	26,096	23,065
自己株式	638	637
株主資本合計	38,525	35,494
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	28
評価・換算差額等合計	4	28
少数株主持分	1,377	1,221
純資産合計	39,907	36,743
負債純資産合計	65,355	61,602

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書 】  
 【 第 3 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 2 月21日 至 平成22年11月20日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 2 月21日 至 平成23年11月20日)
売上高	67,248	72,556
売上原価	44,921	47,770
売上総利益	22,327	24,786
販売費及び一般管理費	17,487 <sub>1</sub>	17,927 <sub>1</sub>
営業利益	4,839	6,859
営業外収益		
受取利息	21	24
仕入割引	79	156
リベート収入	77	74
持分法による投資利益	36	69
その他	108	118
営業外収益合計	324	443
営業外費用		
支払利息	21	13
その他	4	2
営業外費用合計	26	15
経常利益	5,137	7,286
特別利益		
投資有価証券売却益	-	25
貸倒引当金戻入額	-	28
テナント退店収入	102	-
その他	15	3
特別利益合計	117	57
特別損失		
固定資産売却損	13	-
固定資産除却損	121	38
災害による損失	-	204 <sub>2</sub>
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	438
店舗閉鎖損失	-	47
貸倒引当金繰入額	99	66
その他	93	35
特別損失合計	328	831
税金等調整前四半期純利益	4,926	6,511
法人税、住民税及び事業税	1,709	2,898
法人税等調整額	330	212
法人税等合計	2,039	2,686
少数株主損益調整前四半期純利益	-	3,824
少数株主利益	174	185
四半期純利益	2,712	3,639

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年8月21日 至平成22年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年8月21日 至平成23年11月20日)
売上高	21,916	23,399
売上原価	14,679	15,401
売上総利益	7,236	7,998
販売費及び一般管理費	1 5,894	1 6,133
営業利益	1,341	1,865
営業外収益		
受取利息	7	7
仕入割引	26	66
リベート収入	26	25
持分法による投資利益	13	14
その他	30	31
営業外収益合計	104	145
営業外費用		
支払利息	5	4
その他	0	1
営業外費用合計	6	5
経常利益	1,440	2,005
特別利益		
その他	-	3
特別利益合計	-	3
特別損失		
固定資産除却損	5	10
店舗閉鎖損失	-	41
その他	40	5
特別損失合計	45	57
税金等調整前四半期純利益	1,394	1,951
法人税、住民税及び事業税	677	931
法人税等調整額	95	110
法人税等合計	582	821
少数株主損益調整前四半期純利益	-	1,130
少数株主利益	56	62
四半期純利益	755	1,067

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,926	6,511
減価償却費	1,795	1,776
のれん償却額	19	2
受取利息及び受取配当金	24	26
支払利息	21	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	438
売上債権の増減額(は増加)	544	576
たな卸資産の増減額(は増加)	636	1,989
仕入債務の増減額(は減少)	2,294	833
その他	218	448
小計	7,632	5,764
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	17	11
法人税等の支払額	359	2,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,260	3,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,590	1,334
無形固定資産の取得による支出	47	7
敷金及び保証金の差入による支出	286	454
敷金及び保証金の回収による収入	245	260
その他	144	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,824	1,563
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,150	950
長期借入金の返済による支出	2,080	1,344
配当金の支払額	608	608
少数株主への配当金の支払額	21	29
その他	27	69
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,888	1,102
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	546	423
現金及び現金同等物の期首残高	2,000	2,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,547	3,097

## 【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)
会計処理基準に関する事項 の変更	<p>(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、売上総利益は9百万円、営業利益及び経常利益は37百万円、税金等調整前四半期純利益は477百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,002百万円であります。</p> <p>(2) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号平成20年3月10日)を適用しております。 なお、これによる損益に与える影響はありません。</p>

## 【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)
(四半期連結損益計算書)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。
	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年8月21日 至平成23年11月20日)
(四半期連結損益計算書)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

## 【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

## 【注記事項】

## (四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月20日)		前連結会計年度末 (平成23年2月20日)	
1 有形固定資産の減価償却累計額	28,881百万円	1 有形固定資産の減価償却累計額	27,098百万円
2 担保に供している資産		2 担保に供している資産	
建物	538百万円	建物	2,207百万円
土地	-	土地	1,656
計	538百万円	計	3,863百万円

## (四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	
1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。		1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給与・賞与・雑給	6,302百万円	給与・賞与・雑給	6,649百万円
賞与引当金繰入額	394	賞与引当金繰入額	427
退職給付費用	100	退職給付費用	106
		2 平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う建物設備の修繕費及び商品廃棄等の費用であります。	

前第3四半期連結会計期間 (自平成22年8月21日 至平成22年11月20日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成23年8月21日 至平成23年11月20日)	
1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。		1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給与・賞与・雑給	2,051百万円	給与・賞与・雑給	2,167百万円
賞与引当金繰入額	197	賞与引当金繰入額	232
退職給付費用	34	退職給付費用	35

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年11月20日現在)		1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている「現金及び預金」の金額は一致しております。	
現金及び預金勘定	2,550百万円		
預入期間が3か月を超える定期預金	3		
現金及び現金同等物	2,547百万円		

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年11月20日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年2月21日至平成23年11月20日)

1. 発行済株式の種類及び総数  
 普通株式 20,690,843株

2. 自己株式の種類及び株式数  
 普通株式 410,531株

3. 新株予約権等に関する事項  
 該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月10日 定時株主総会	普通株式	304	15.00	平成23年2月20日	平成23年5月11日	利益剰余金
平成23年9月21日 取締役会	普通株式	304	15.00	平成23年8月20日	平成23年10月18日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの  
 該当事項はありません。

5. 株主資本の著しい変動に関する事項  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年8月21日至平成22年11月20日)

区分	小売事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,064	1,890	2,388	572	21,916	-	21,916
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	2,926	-	251	3,178	3,178	-
計	17,064	4,817	2,388	823	25,094	3,178	21,916
営業利益	653	212	306	162	1,335	6	1,341

(注) 事業区分は事業内容を勘案して、下記のとおり区分しております。

小売事業..... D I Y 関連用品、園芸用品、ペット用品等のホームセンター、スーパーセンター及びアート&クラフト専門店、食品専門館での店頭販売

卸売事業..... D I Y 用品等を全国及び当社グループのホームセンターへ販売

外食事業..... とんかつ専門店「かつや」を主力とした飲食店の経営

不動産事業..... 不動産賃貸業

前第3四半期連結累計期間(自平成22年2月21日至平成22年11月20日)

区分	小売事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,857	5,688	7,015	1,686	67,248	-	67,248
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	8,821	-	772	9,594	9,594	-
計	52,857	14,510	7,015	2,458	76,842	9,594	67,248
営業利益	2,612	786	932	487	4,819	19	4,839

(注) 事業区分は事業内容を勘案して、下記のとおり区分しております。

小売事業..... D I Y 関連用品、園芸用品、ペット用品等のホームセンター、スーパーセンター及びアート&クラフト専門店、食品専門館での店頭販売

卸売事業..... D I Y 用品等を全国及び当社グループのホームセンターへ販売

外食事業..... とんかつ専門店「かつや」を主力とした飲食店の経営

不動産事業..... 不動産賃貸業

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年8月21日至平成22年11月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成22年2月21日至平成22年11月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年8月21日至平成22年11月20日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成22年2月21日至平成22年11月20日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、以下の事業内容に基づき「小売事業」、「卸売事業」、「外食事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

小売事業..... D I Y関連用品、園芸用品、ペット用品等のホームセンター、スーパーセンター及びアート&クラフト専門店、食品専門館での店頭販売  
 卸売事業..... D I Y用品等を全国及び当社グループのホームセンターへ販売  
 外食事業..... とんかつ専門店「かつや」を主力とした飲食店の経営  
 不動産事業..... 不動産賃貸業

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年2月21日 至平成23年11月20日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	56,773	5,992	8,022	1,767	72,556	-	72,556
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	10,123	-	730	10,854	10,854	-
計	56,773	16,116	8,022	2,498	83,410	10,854	72,556
セグメント利益	4,201	948	1,097	590	6,837	21	6,859

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間（自平成23年8月21日 至平成23年11月20日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,976	2,055	2,747	620	23,399	-	23,399
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	3,357	-	250	3,607	3,607	-
計	17,976	5,412	2,747	870	27,007	3,607	23,399
セグメント利益	976	270	381	229	1,858	7	1,865

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

( 1株当たり情報 )

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月20日)		前連結会計年度末 (平成23年2月20日)	
1株当たり純資産額	1,899.88円	1株当たり純資産額	1,751.57円

2. 1株当たり四半期純利益金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	
1株当たり四半期純利益金額	133.74円	1株当たり四半期純利益金額	179.46円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)
四半期純利益(百万円)	2,712	3,639
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	2,712	3,639
期中平均株式数(千株)	20,280	20,280
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

前第3四半期連結会計期間 (自平成22年8月21日 至平成22年11月20日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成23年8月21日 至平成23年11月20日)	
1株当たり四半期純利益金額	37.26円	1株当たり四半期純利益金額	52.65円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		同左	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年8月21日 至平成22年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年8月21日 至平成23年11月20日)
四半期純利益(百万円)	755	1,067
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	755	1,067
期中平均株式数(千株)	20,280	20,280
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## 2【その他】

平成23年9月21日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| (イ) 中間配当による配当金の総額     | 304百万円      |
| (ロ) 1株当たりの金額          | 15円00銭      |
| (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 平成23年10月18日 |

(注) 平成23年8月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、支払いを行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年12月24日

アーランドサカモト株式会社  
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 加藤 真美 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアーランドサカモト株式会社の平成22年2月21日から平成23年2月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年8月21日から平成22年11月20日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年2月21日から平成22年11月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アーランドサカモト株式会社及び連結子会社の平成22年11月20日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年12月26日

アーランドサカモト株式会社  
取締役会 御中

### あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	加藤 真美 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	小澤 義昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアーランドサカモト株式会社の平成23年2月21日から平成24年2月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年8月21日から平成23年11月20日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年2月21日から平成23年11月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アーランドサカモト株式会社及び連結子会社の平成23年11月20日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されているとおり、会社は第1四半期連結会計期間より、資産除去債務に関する会計基準及び資産除去債務に関する会計基準の適用指針を適用している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。